

月山&蔵王熊野岳山行報告

【山行日】2020年 7月 25(土)~26(日)

【集合】栃木市運動公園P AM 4:00

【費用】マイカー1台 : 12,800円

【メンバー】CL:鈴木、SL大西、石澤、関、鶴見

【コースタイム】25日:栃木市運動公園 P4:00=

姥沢 P7:40/8:00~リフト山麓駅 8:10+++

山頂駅 8:25/8:30~姥ヶ岳 8:50/9:00~牛首

9:35/9:40~月山 10:30/10:50~牛首 11:20/11:30

~山頂駅 12:00+++山麓駅 12:15~姥沢

P12:25/12:35=寒河江 SA13:20/13:50=

ペンション「ぼくのうち」14:50

25日 曇り 姥沢登山口からリフトを利用し姥ヶ岳&月山を登り蔵王温泉ペンションへ

7/23(木)から北アルプスの薬師岳に出かける予定だったが、天候不順の為中止を余儀なくされた。代替山行として天気が良い日を選び、東北の月山と蔵王熊野岳に登る計画を立てた。



ところが、前日になると天気予報が変わり、2日間とも雨の予報になっていた。何とかレインウェアを着ることなく歩けるようにと、仏様をお願いし栃木市運動公園を出発する。東北道を北上し山形県に向かうが、福島県を出るまでは雨が降っていた。宮城県に入ると雨は止み、村田 JCT から山形自動車道に入ると空が明るくなってきた。月山 IC で降り、県道114号線を通って姥沢の駐車場に着く。340台止められる広い駐車場に、車が20台位しか止まっ

ていない。道路の反対側にトイレがあり、トイレを済ませてストレッチを行って出発する。車道を10

分程登るとペアリフト下駅に着き、チケットを買ってリフトに1人ずつ乗り15分でペアリフト上駅に着く。ガスで視界が悪いが、雨は降ってないので姥ヶ岳に向かって登って行く。すぐにお花が出迎えてくれ、ニッコウキスゲやイワカガミ、ミヤマキンバイ、チングルマなど色とりどりのお花畑が広がる。「晴れてなくてもこれだけお花が見られて良かった」と言いながら姥ヶ岳山頂に着く。ここから牛首まではなだらかな稜線歩きで、お花を楽しみながら爽快に歩ける。湿原にはヒナザクラ



ラやミヤマリンドウ、ハクサンフウロ、トキソウも見られ、皆さん大満足。ガスが晴れると湯殿山など周りの山々がくっきりと見え、右下に雪渓が現れるとウワ~~と歓声が上がる。

牛首で小休止しトマトや菓子を食べ、山頂への登りに備える。ここから山頂への急登が始まり、岩



がゴロゴロした登山道を頑張って登る。ニッコウキスゲやハクサンフウロの花に励まされ、振り返ると雪渓のスキーヤーを眺めることが出来た。徐々に傾斜が緩くなり、平坦な道になると頂上小屋があり、その先が山頂の月山神社になる。神社入り口で拝観料を納め、神主さんのお祓いを受けお札を授かる。石積みの塀に囲まれた神社が月山山頂だが、撮影禁止で記念写真が撮れない。お賽銭をあげ、安全登山を祈願して早々に下山する。山頂付近は広大なお花畑が

広がり、ハクサンフウロやウサギギク、ミヤマウイキョウなどで覆い尽くされていた。風が強いので牛首まで下りて休憩し、プリンを食べながら花や雪渓のスキーヤーを眺める。牛首からは分岐を左に下り、雪渓を通過してペアリフト上駅に向かう。雪渓を下るとスキーヤーが楽しそうに滑っていたが、温暖化の影響で雪渓が小さくなりちょっとかわいそうと思った。こちらの登山道もお花が凄く、ニッコウキスゲとヨツバシオガマのコラボが素晴らしい。ペアリフト上駅まで戻り、令和の鐘の前で記念写真を撮ったらリフトに乗り下山する。



無事雨が降る前に下山出来、車に乗り込んで蔵王温泉の宿に向かう。山形自動車道に乗り、寒河江ASで昼食をいただき蔵王温泉のペンション「ぼくのうち」に着いた。本日の泊り客は我々だけの貸切で、特に温泉が良く源泉かけ流しの白い濁り

湯は皆さん気に入ったようだ。温泉から出たらすぐ宴会が始まり、紅白のワインをいただき超ご満悦。若干飲み過ぎて夕食を食べられない人が居たが、美味しいジンギスカン鍋を沢山食べ、お腹がいっぱいになって床についた。

26日:ペンション「ぼくのうち」8:00＝刈田岳レストハウス P8:40/9:00～熊野岳 10:00/10:15～刈田岳 10:55/11:10～大黒天 P11:50/12:00＝国見 SA13:30/14:00＝栃木市運動公園 P15:45

26日 曇り時々小雨のち晴れ 刈田岳レスト



ハウスから熊野岳に登り、刈田岳から大黒天へ下山し栃木市運動公園へ帰着

朝起きて窓の外を見ると、空が明るく山の上もはっきりと見えていた。女性達は朝早くから温泉に入り、散歩に出かけて朝市で野菜をゲットしてきた。7時から朝食をお願いし、1階の食堂で朝食をいただく。鮭の切り身は分厚くふっくら焼き上がり、山形の郷土食「だし」や冬瓜の煮物、等々どれも美味しくいただいた。朝食が済んだら荷物を車に積み、刈田岳レストハウス駐車場に向かう。

蔵王エコーラインを走り、蔵王ハイライン入口で通行料500円を払って駐車場に着く。まだ車は少な



くて、一番奥の駐車スペースに止めることが出来た。出発の準備を整えたらレストハウスに移動し、トイレを済ませてストレッチを行い出発する。今日も曇り空だが視界は良く、これから登る熊野岳がはっきりと見えていた。まずは御釜の展望台に行き御釜を見下ろすが、御釜がはっきりと見え周りの火口壁の岩壁までくっきり見える。初めての二人は御釜の展望に大喜びしていた。ここから馬ノ背を通って熊野岳に向かうが、途中までは御釜の周囲を歩いて行く。

御釜を存分に楽しんだら馬ノ背に上がり、避難小屋を目指して登って行く。火山礫のザレた登山道を登り、稜線に建つ避難小屋に着く。ここから山頂までは平坦な稜線を歩き、朝日連峰や飯豊連峰を眺めながら爽快に歩いて行く。登山道の両側にロープが張られ、ロープの内側を良く見るとコマクサが咲いていた。まだ小さな株だが、ピンクの可憐な花をつけとても可愛らしく見える。熊野神社がある山頂に着き、神社をお参りしてから三角点が置かれた山頂へ。石碑の前で記念写真を撮り、ベンチで休憩しミカンやどら焼き、トマトをいただく。曇り空でも展望は良く、東北の名だたる山々が見渡せ大満足。360度の大展望を楽しんだら下山する。山頂から来た道を少し戻り、



右に下って馬ノ背に下る。オンタデやシロバナニガナが群生し、オノエランも沢山見られた。馬ノ背を下ってレストハウスに行き、トイレを済ませて刈田岳に向かう。

ほんの50mほどの登りだが、皆さん元気でスピードアップ。我輩は息が切れて後を付いて行けない。刈田嶺神社を参拝し、山頂の伊達正宗公参詣記念碑の前で記念写真を撮る。ここで皆さんと別れ、女性達は東に下って大黒天に下る。我輩は駐車場に戻り、車に乗って

大黒天に車を回す。

大黒天駐車場に着き、登山道を見上げるが人影が見えない。しかたなくスニーカーのまま登山道を上って行き、最初のピークまで登ると皆さんが降りてきた。綺麗なコマクサを見られてとても良いコースだったと、嬉しそうに話していた。我輩は心配して登って来たのに……。

駐車場まで戻り、靴を履き替え荷物を積んだら帰路につく。昼食を食べてないので食事処を探すが、

皆さんはまだお腹が空いてないと言う。結局、東北道に乗り国見 SA で昼食を食べることになる。国



見 SA はリニューアル工事中で、仮店舗での営業だったが客が少ないので直ぐに食べることが出来た。女性達は1箱1300円の桃をゲット。キズ有の B 級品だが、とても甘くて美味しく超お買い得だった。高速道は渋滞も無く順調に走り、予定よりもかなり早く栃木市運動公園へ帰着できた。雨を心配しながらの高速登山だったが、レインウェアを着ることなく、花良し、展望良し、宿良し、の三拍子そろった楽しい山行となった。

